

エコドライブ活動の目的・役割、 優秀取組事例、実践方法について

2023年10月19日
交通環境対策部参事
熊井 大

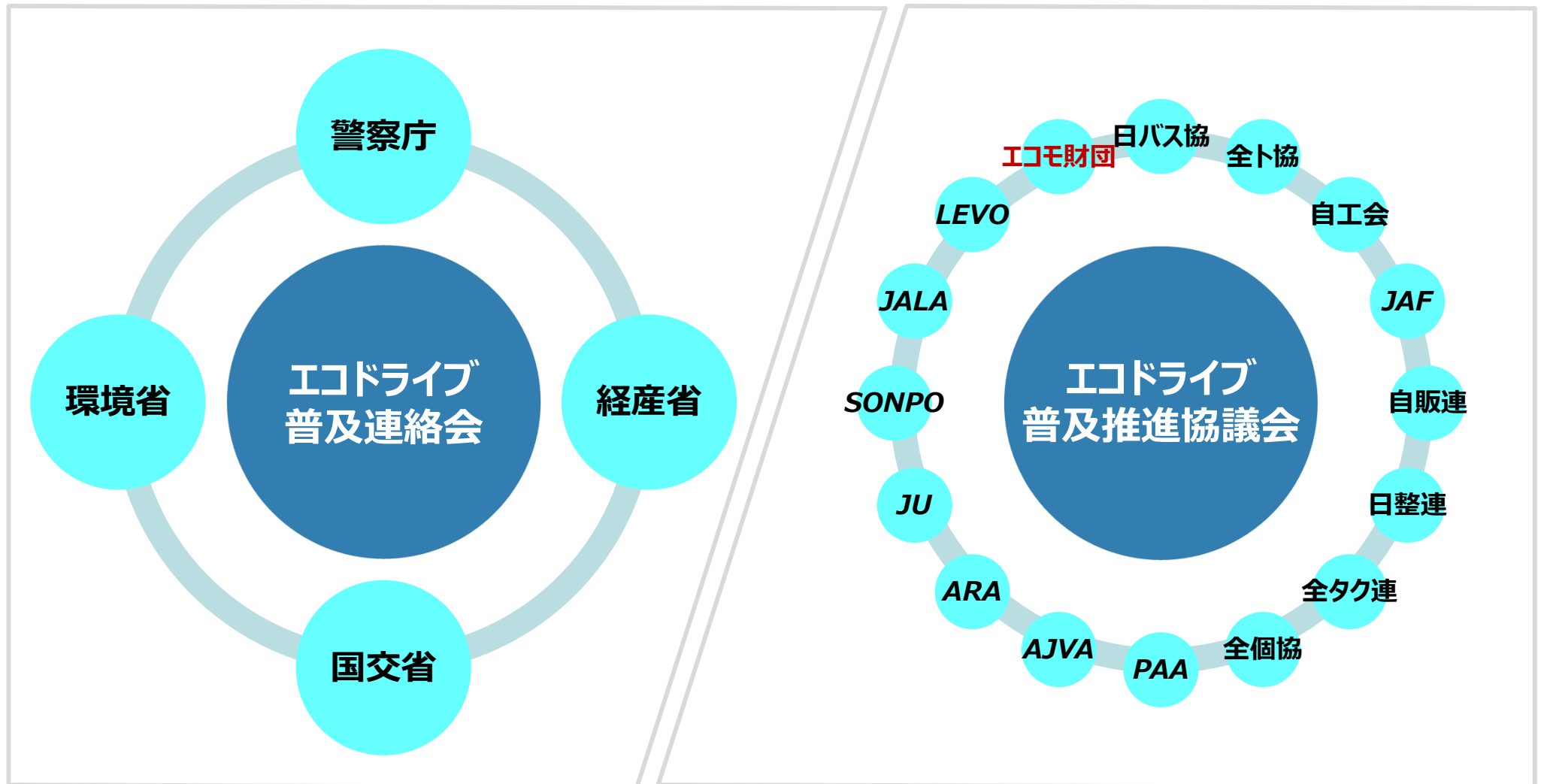
目的・役割

SDGsは企業に求められる経営姿勢 #13気候変動対策

Sustainable Development Goals (2030年までに達成すべき持続可能な開発目標)



日本のエコドライブは官民一体で普及推進



エコドライブ10のすすめ
毎年11月はエコドライブ推進月間

エコドライブ10のすすめ

2020年1月27日 警察庁、国土交通省、環境省



エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐに始めることができるアクションです。小さな意識を習慣にすることで、あなたの運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから、はじめてみましょう、エコドライブ。

1 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

2 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう（最初の5秒で、時速20km程度が目安です）。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。

3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ると心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

4 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

5 エアコンの使用は適切に

車のエアコン（A/C）は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。たとえば、車内の温度設定が外気と同じ25°Cであっても、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。また、冷房が必要なときでも、車内を冷やしすぎないようにしましょう。

※1 交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。（自動アイドリングストップ機能搭載車は同様ではありません。）
 ・手動アイドリングストップ中に何らかのブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
 ・慣れないと制動や発進遅れが生じます。また（バッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再起動しない場合があります。）
 ・エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。
 ※2 -20°C程度の極寒地域など特別な状況を除き、走行から暖めるウォームアップ走行で充分です。
 ※3 タイヤの空気圧は1ヶ月で5%程度低下します。
 ※4 適正値より50kPa（0.5kg/cm²）不足した場合は、

6 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車の際は、アイドリングはやめましょう※1。10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です※2。エンジンをかけたらずらに発進しましょう。

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認しましょう。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。

8 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう※3。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します※4。また、エンジンオイル・オイルフィルター・エアクリーナエレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

9 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車をやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりで、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

エコドライブ普及連絡会

（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）

エコドライブ普及推進協議会HP→



エコドライブのあれこれ

エコカーや、燃費の良い車に乗りましょう。



電気自動車



プラグインハイブリッド車



燃料電池自動車

電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車といった次世代のエコカーはもちろん、従来のエンジン車でハイブリッド車並みの低燃費を実現したエコカーもあります。環境にやさしいエコカーでエコドライブしてみませんか。

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.env.go.jp/air/car/lev/index.html>
 環境省HP 「次世代自動車の普及促進」



ハイブリッド車・電気自動車のエコドライブ運転方法のコツは？

答え：モーターをできるだけ活用しましょう。

■発進と加速はモーターの得意分野（ハイブリッド車のみ）

モーターの力でゆっくり発進し、エンジンが作動したら目的速度までモーターの力も活かしてゆっくり加速、その後はアクセルを緩めてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。

■ブレーキは発電のチャンス

減速時に早めにアクセルを離してやさしくブレーキを踏み、長い距離をかけてゆっくり停止しましょう。やさしくブレーキを踏むとモーターで発電した電力がバッテリーに充電されます。次の発進・加速時に再利用するので燃費が良くなります。



ハイブリッド車のエンジンの稼働図
 （できるだけエンジンがかからない運転をしましょう）

エコドライブ支援ツールを使いましょう。

様々なエコドライブ支援ツールを利用することで簡単にエコドライブに取り組みます。

①エコドライブランプ[※]を点灯するように運転しましょう。アクセルをふんわり踏んで運転することになり、燃費が良くなります。



エコドライブランプの例

②エコドライブスイッチ[※]をONにしましょう。車の制動が変わって、ゆっくり加速しやすくなり、燃費が良くなります。

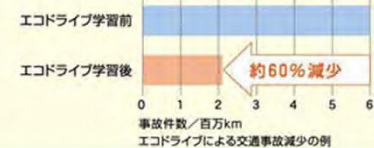


エコドライブスイッチの例

※メーカーによって名称は異なります。

エコドライブで交通事故が減るんです。

ゆっくり発進、ゆっくり停止、十分に車間距離をとるなどエコドライブを心がけることで運転にゆとりが生まれます。これにより交通事故が約60%減少したという報告もあります。エコドライブでエコだけでなく安全運転にもなって一石二鳥ですね。



エコドライブによる交通事故減少の例



【新】

1. **自分の燃費を把握しよう**
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. **車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転**
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. ムダなアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物はおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

まずは燃費の記録

燃費の変化で運転を振り返る

PDCAで燃費を改善し続ける

車間を開けると心がひらく

視界がひらける

情報量が増える

多い情報が処理できる

安心して心がひらく

環境意識が優しくさせる

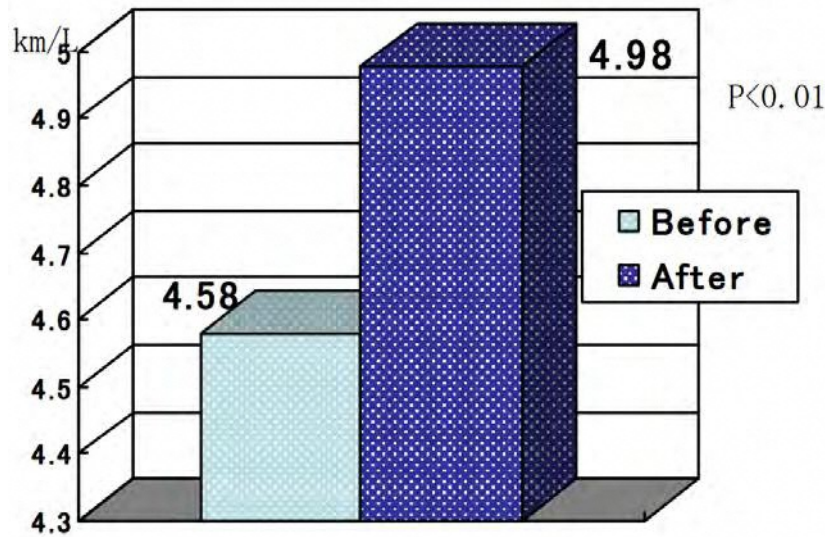
エコドライブ活動による燃費改善と交通事故低減

(間地寛・春日伸予・石太郎・大聖泰弘)

エコドライブ活動：事業所でエコドライブを推進する活動

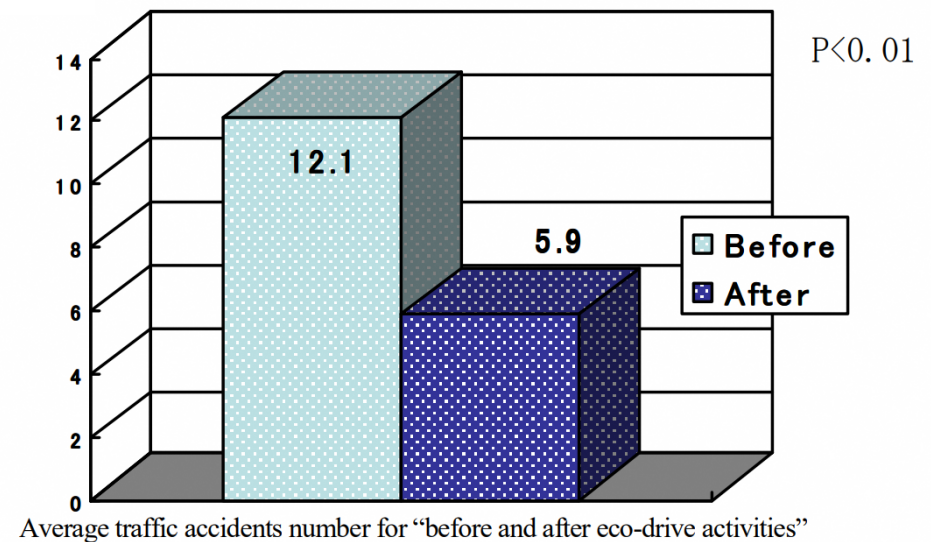
燃費 +8.7%

事故 ▲51%



Average fuel consumption for “before and after eco-drive activities”

Fig. 2 Improved fuel consumption

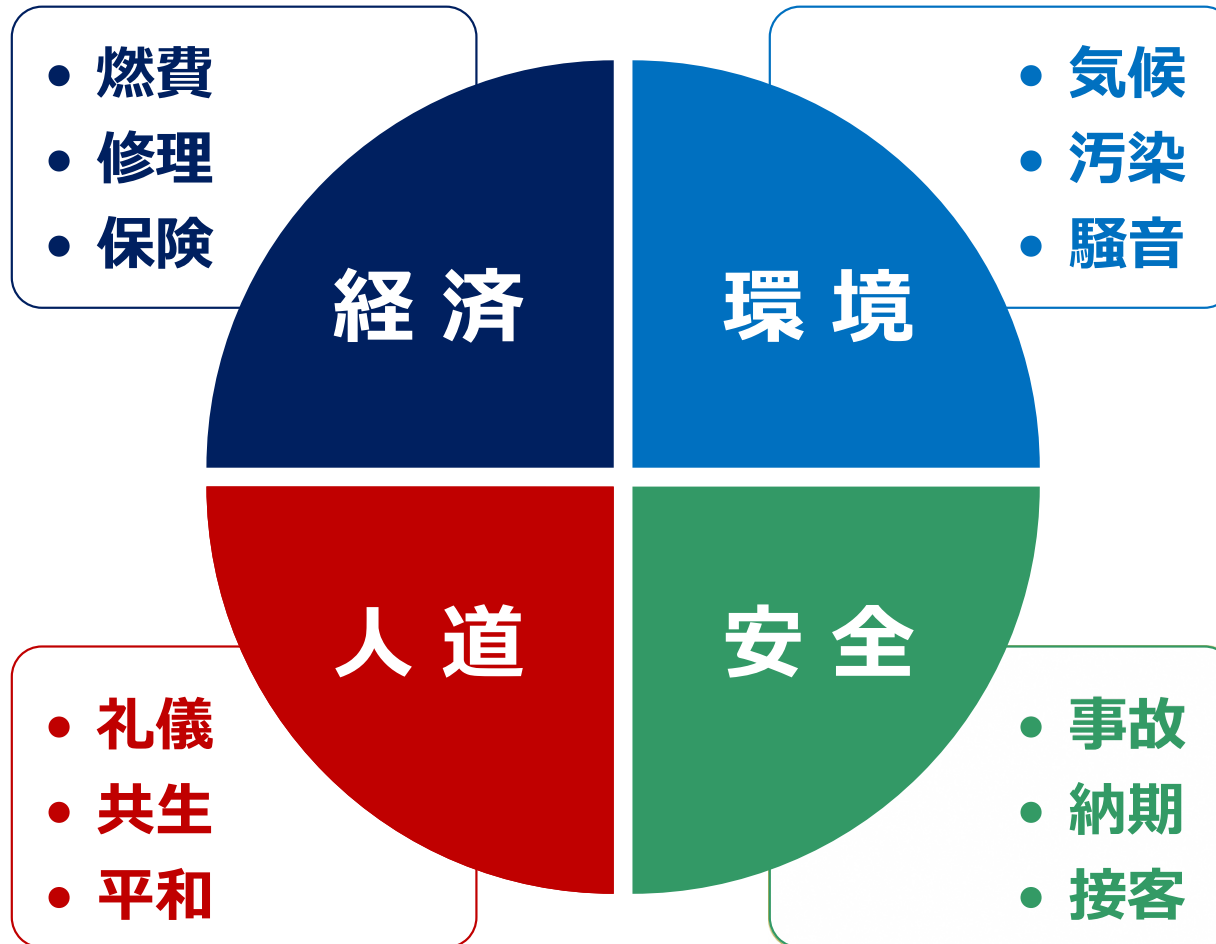


Average traffic accidents number for “before and after eco-drive activities”

Fig. 6 Fluctuation of number of traffic accidents

<http://www.tta-gep.jp/archivePDF/Ronbun-2.pdf>

エコドライブ活動の目的・役割



優秀取組事例

エコドライブ活動コンクール 公式サイト

The screenshot shows the homepage of the Eco Drive Activity Competition website. At the top left is the logo and text '2023 年度 エコドライブ活動コンクール'. Navigation links include HOME, お知らせ, コンクールとは, 募集要項, 応募の流れ, and Q&A. On the top right are links for 'コンクール事務局', '個人情報', 'お問い合わせ', and a 'ログイン' button.

The main banner features the title '2023 年度 エコドライブ活動コンクール' and the application period '応募期間 5月9日(火)~7月7日(金)'. It also highlights the goal '目指せ! 大臣賞!' (Aim for Minister's Award!) with two categories: '事業部門 国土交通大臣賞' (Business Department, Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award) and '一般部門 環境大臣賞' (General Department, Minister of Environment Award). Illustrations of a car, bus, and truck with green leaves on their roofs are shown.

A notice bar below the banner states: '2023.08.01 【2次審査 応募受付終了】 たくさんのご応募ありがとうございました!' (2023.08.01 [2nd Round Review Application Closed] Thank you very much for all the applications!).

Below the notice bar are three columns representing different categories, each with a '応募受付は終了しました' (Application closed) button:

- 事業部門** (Business Department): Trucks, buses, taxis, etc. Application code: 東京 000 エ 12-34.
- 一般部門** (General Department): General businesses outside of transport. Application code: 東京 000 コ 56-78. This column is highlighted with a red border.
- 支援ビジネス・ユニーク部門** (Support Business/Unique Department): Details are available at the bottom of the page.

At the bottom left of the screenshot is the URL: <https://www.ecodrive-activity-concours.jp/data/leaflet2023.pdf>

<https://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階
交通環境対策部 TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294

2022年度

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

<https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive-activity-concours-2022jirei.pdf>



株式会社サンゲツ

所在地：愛知県名古屋市西区幅下1-4-1
 業務内容：流通業(卸売業)
 拠点数：34
 従業員数：1,256名
 車両数：475台
 活動実績：4年



社員と会社、そして地球が幸せになれるエコドライブ

2015年、エコドライブ活動を本格的に開始し、**全営業車にテレマティクスを導入**。その後もエコドライブ支援機器及び安全運転支援機器を積極的に導入するなどハード面と、環境CSRに基づいた様々な取組を行うソフト面、両面から積極的にアプローチを行っている。エコドライブは、社員にとっても、会社にとっても、最終的には地球にとっても良い結果をもたらす取組であるとし、活動を推進。

エコドライブ活動の成果

平成26年度比
23%燃費向上
事故件数 45%削減
(人身事故、対物事故)

受賞事業者の声

この度の環境大臣賞受賞に際しては、様々なメディアにニュース掲載されました。予想以上の反響であり、改めてエコドライブへの関心の高まりを感じた次第です。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|---------|-------|--|---------------------------------|
| 取組体制の整備 | 全体取組 | ・CSRの重要課題である環境保全活動の一環としてエコドライブ活動に取り組む | 社内イントラネットにて「車両チェック表」を用いた月次管理を実施 |
| | 体制・目標 | ・CSR委員会を構成する組織のひとつである「環境保全分科会」がエコドライブ活動を担当 | |
| 教育の実施 | 情報活動 | | 分析したテレマティクスのデータを各拠点に展開し、教育に活用 |
| | 教育資料 | ・エコドライブ普及推進協議会やJAFなどの提供する教育資料を活用 | |
| 燃費管理 | 燃費管理 | ・テレマティクスから取得した燃費データを基に、車両別や拠点別など分析を実施 | 前年比105%向上が目標 |
| | 燃費目標 | | 105% UP |
| 活動成果と評価 | 燃費向上 | ・平成26年度(活動前)比で23%燃費が向上 | ポスター掲示などを通して取組員へのエコドライブ活動の啓蒙 |
| | 事故管理 | ・平成26年度(活動前)比で人身事故、対物事故が44.7%削減 | 地球温暖化 CO2削減 |
| 継続実績と方策 | 活動実績 | ・平成27年度より活動を開始 | オリジナルの安全ステッカーを営業車に貼付 |
| | エコカー等 | ・全車両にテレマティクスを導入。その他安全機器の導入やHV車への切り替えも実施 | |

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



評価ポイント 環境保全活動の周知のため、興味を持ってもらう工夫を凝らしたツールを活用

自社オリジナル漫画も活用した社内報「eco通信」

エコドライブも含めた環境保全に関わる情報発信のため「eco通信」を環境保全分科会(総務課)が作成し、イントラネットにて月次配信。環境に関するコラムの他、自社オリジナルキャラクターの漫画を作成し、掲載。社内での閲覧だけでなく、自宅に持ち帰り家族に見せる社員もいるなど、環境保全活動に興味を持ってもらうためのツールとして活躍。



eco通信



教育の実施



評価ポイント 運転結果の「見える化」により、安全運転だけでなくエコドライブへの意識が向上

テレマティクスを活用した車両データ管理の徹底

全車両にテレマティクスを搭載し、燃費・CO2排出量のほか、急加速回数・急減速回数・アイドリング時間比率・速度超過回数などの運行データを収集し、管理。

それぞれ目標値を定めており、各データの対目標値での結果は、本社から拠点へ展開され、担当マネージャーから運転者への指導に使用される。



テレマティクスの運行データの推移



継続実績と方策



評価ポイント エコドライブ・安全運転のサポートをハード面から推進

エコドライブ支援機器及び安全運転支援機器を積極的に導入

2015年活動開始時に全車両にテレマティクスを導入して以降、2015年9月にはカーナビを標準装備化し、エコドライブ支援機器を積極的に導入。

その他、ドライブレコーダー、バックモニター、自動ブレーキなどの安全運転支援機器も標準装備化も実施。

また2018年以降、新車入替時にハイブリッド車への切替えも順次実施。



エコドライブ支援機器及び安全運転支援機器導入の流れ



継続実績と方策



評価ポイント アメとムチの両方の制度を設けることで、社員の安全・エコドライブに対する意識を醸成

表彰制度と懲戒制度による安全・エコドライブ意識の醸成

全営業員500名分の運転記録証明を年に2回取得し、3年間無事故の営業員に対して表彰を実施。

また、業務中の速度超過や携帯電話使用等の自分で気を付けられる違反に対する懲戒制度を設け、違反内容に応じて「厳重注意」「罰戒」「減給」等を取り決め。



運転診断結果





若松ガス株式会社

所在地：福島県会津若松市千石町4-16
 業務内容：ガス供給業
 拠点数：7
 従業員数：172名
 車両数：118台
 活動実績：10年



自社独自の取組でエコドライブ活動を継続

管理者が受講した教習所でのエコドライブ講習をきっかけに活動開始。自社の燃費管理のルールをまとめた「車輛燃料管理手順書」を策定し、円滑に燃費の記録・分析・管理ができる体制を構築。

■ **全社員向けの環境教育を、オリジナルで作成したテスト形式で実施。**独自の工夫を凝らした取組を通して、営業・ガス供給・工事車両でエコドライブ活動を継続。

エコドライブ活動の成果

平成22年度比
13.6%向上
(ガソリン車)
 事故件数40%削減
(保険適用外も含む)

受賞事業者の声

環境にやさしい会社を目指して十数年前より様々な取り組みを実施していますが、その中でも環境影響が大きいエコドライブ活動が評価された事は弊社の今後の環境保全活動の励みになります。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|---------|-------|--|---------------------------------------|
| 取組体制の整備 | 全体取組 | ・ISO14001を取得し、環境保全活動の一つとしてエコドライブ活動を実施 | 年に4回安全運転管理者による「車両外観点検」を実施 |
| | 体制・目標 | ・社長を最高責任者とした環境マネジメントシステム推進体制を構築 | |
| 教育の実施 | 点検・整備 | ・車両点検表を用いて車両担当者が実施 | |
| | 事項問題 | | 安全運転講習会を年2回全拠点で実施 |
| 燃費管理 | 教育資料 | ・月間の運転を振り返る「エコドライブ実施状況アンケート」を毎月全社員が実施 | 安全運転講習会 |
| | 教育実施 | | 各拠点ではフィードバックされた結果をもとにドライバーへ指導を行う |
| 活動成果と評価 | 燃費管理 | ・燃費管理責任者である車両燃費実施リーダーを部署毎に配置 | |
| | 燃費目標 | ・前年度比97%以上の車両が全体の8割となることを目標として設定 | |
| 活動実績と評価 | 燃費向上 | ・平成20年度比で、7.6%燃費が向上 | 地球にやさしい「ふくしま」県民会連合会地方会議にて取組事例活動に関する講演 |
| | 事故管理 | ・交通安全防止キャンペーンを実施 | |
| 継続実績と方策 | 対外活動 | ・平成26年に「会津若松環境大賞」、平成27年に「つくしま 0%減、環境貢献」、平成28年に「地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰)」を受賞 | 運転記録証明を毎年取得し、継続して無事故無違反の社員を表彰 |
| | 活動実績 | ・平成20年度より活動開始 | |
| 継続実績と方策 | エコカー等 | ・テレマティクス(通信型ドライブレコーダー)を全車両に導入 | |
| | 独自工夫 | ・テレマティクスで測定する安全運転評価値及びエコ運転評価値において好成績を取得した社員を表彰 | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント イントラネットで回答できるクイズ形式にすることで、全社員が参加しやすい工夫

自社オリジナルのテスト形式で全社員への環境教育を実施

年に2回、社内イントラネットを通じて環境問題についての教育を目的とした「ISO14001 スキルアップ講習会」をテスト形式で実施し、全社員からの回答を徹底。

テスト問題は、エコドライブ活動を含む社内の環境保全活動に関するものから一般常識まで、自社オリジナルの内容で作成。



ISO14001 スキルアップ講習会

教育の実施

評価ポイント 毎月振り返りを実施することで、エコドライブのコツやポイントが浸透

毎月の「車両運転自己チェック」の全社展開

「車両運転自己チェック」を毎月全社員対象で実施。「早めのアクセルオフを行っている」「急の付く運転はしないようにしている」などの項目を設け、社員が自分の運転を振り返るツールとして活用。結果は拠点毎で集計し、社内イントラネット上で共有される。

業務上で車両を使用しない社員は家用車の運転について回答しており、全社的なエコドライブ活動の取組として展開。



車両運転自己チェック 分析結果

燃費管理

評価ポイント 運用のルールを明確にし、スムーズな燃費管理を実現

「車輛燃料管理手順書」に基づいた燃費管理

燃費管理のルールをまとめた「車輛燃料管理手順書」を策定。車両管理者が給油量や走行距離、点検記録などを記入する「車両点検表」にて給油毎の燃費を記録。

月次で拠点の責任者が回収し、ISO事務局に報告。人事・総務がデータを取りまとめ、拠点にイントラネットを通じて展開される。フィードバックされたデータは拠点で社員への指導に活用。



車輛燃料管理手順書

継続実績と方策

評価ポイント エコドライブの成果を見える化し、拠点での社員指導に活用

テレマティクスの全車両への導入と活用

テレマティクス(通信型ドライブレコーダー)を全車両に導入。運行日報を出力することで「安全エコ運転分析」「危険運転状況」などのデータを車両別、日別、月別などで確認することが可能。

各拠点での閲覧も可能で、安全・エコ運転の頻度や点数を見える化することで改善点が明らかになり、社員のエコドライブ・安全運転への意識を醸成。



運行日報





株式会社日立産機ドライブ・ソリューションズ

所在地：千葉県習志野市東習志野3-15-11
 業務内容：環境関連サービス事業
 拠点数：1
 従業員数：活動部門180名(全社761名)
 車両数：89台
 活動実績：11年



エコドライブの浸透=安全運転の定着化

自社の環境方針及び日立グループ「日立環境イノベーション2050」に基づき、環境安全の一環として本社及び神奈川地区の試料採取、工事立ち会い、営業などの全社有車でエコドライブ活動を推進。
 運転手自らが日々記入した日報に基づき、環境ISO推進グループが、**環境ISO14001に基づいたPDCAサイクルに沿って、活動の進捗状況・結果の原因分析などを確実に実施**することで、環境保全に加え安全にも繋がっている。

エコドライブ活動の成果

平成19年度比
12.0%燃費向上
 (全社平均)
事故件数・
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

優秀賞受賞をホームページに掲載することで、エコドライブ活動への取り組みをPRすることが出来ました。今後はエコドライブを目指して活動します。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | |
|---------|----------------|---|
| 取組体制の整備 | 全体取組 | 日立グループを社方針の下、エコドライブを推進 |
| | 体制・目標 点検・整備 | ・ISOマネジメントシステムによる組織体制を構築 ・点検整備は運転手自ら実施した記録を日報に記入 |
| 教育の実施 | 職場啓蒙 | エコドライブ動画を視聴し、アンケートを実施 |
| | 教育資料 | ・エコモ財団の資料や自工会等の動画などをイントラネットに掲載し活用 |
| 燃費管理 | 燃費目標 | ・現状を下回らないよう、従業員に周知 |
| | 燃費向上 | ・平成28年度比で、2.9%燃費が向上 |
| 活動成果と評価 | 事故管理 | ・事業別別事故件数を集計・分析 |
| | 特別活動 | ・自治体主催のエコドライブセミナーにて活動事例を発表 |
| 継続実績と方策 | 活動実績 | ・平成19年より活動開始 ・ドライブレコーダーを81台に装着 |
| | エコカー等 | ・車両更新時に積極的にエコカー(ハイブリッド車、低燃費車)を導入 |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 各担当者にPDCAサイクルに沿った具体的な役割を設定

環境ISO14001に基づいたPDCAの着実な実践

環境方針に基づき、環境ISOでの実行プログラムにおいて環境管理を目標として環境保全活動を展開。
 エコドライブにおいても、社長をトップとした管理体制を構築し、目標の立案～教育～レビュー～評価・表彰のPDCAサイクルを推進。



環境方針

燃費管理

評価ポイント 外部講習を活用することで、客観的なエコドライブレベルが見える化

外部エコドライブ講習の活用

毎年、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)が認定するエコドライブ講習会に、各部門から選出した従業員複数名が参加。
 受講した従業員はエコドライブの効果を他の社員にも感じてもらえる様、定期ミーティングの場等で自身のエコドライブ診断結果などを報告。



エコモ財団認定の講習に参加

教育の実施

評価ポイント 乗務員に新たな発見・気づきの機会を創出

タッチパネルによる自動車運転適性検査の実施

自動車運転適性審査を本社にて実施。
 50インチの大型タッチパネルを利用した2つの診断(視野の広さと反応、速度予測と判断力)とパソコンでの立体映像による3つの診断(動体視力、距離感覚、眼の動き)を行い運転者の視機能を判定。
 当日は70名が参加し、安全運転の定着化を図る。



自動車運転適性検査

継続実績と方策

評価ポイント ハイブリッド車購入の判断材料として、エコドライブ実績値を活用

社内報「HEART & HEART」の発行

社内に編集委員を設置し、社内報を毎月発行。
 本コンクールの受賞結果や、対外活動、エコドライブ教育など様々な情報を定期的に発信。
 社内イントラネットにも掲載することで全従業員が閲覧可能。



社内報「HEART & HEART」





株式会社エスアールエル

所在地：東京都新宿区西新宿2-1-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：143
 従業員数：5,631名
 車両数：1,602台
 活動実績：7年



ドライバーに焦点を当てきめ細やかな活動を継続

親会社であるみらかホールディングスのCSR方針に基づき、ISO14001を取得、掲げている環境方針のひとつとしてエコドライブ活動を全社の検体乗荷・営業車両で実施。ハード面の導入だけでなく自社独自のエコドライブマニュアルの作成や、**後職・配属先に応じた各種講習を開催し実践的なエコドライブ教育を実施**するなど、運転する「人」に重きを置いたエコドライブ活動を継続して実施。

エコドライブ活動の成果

平成23年度比
16.8%燃費向上
平成26年度比
事故件数26.4%削減
(人身事故、対物事故)

受賞事業者の声

今回の受賞が当社グループの社内報に掲載され、さらに当社グループのCSR活動においても顕著な功績として社内表彰を受賞することができました。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|----------------|--|--|--|
| 取組体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 全体取組：平成23年にISO14001を取得し、エコドライブを含む環境保全活動を継続して実施 体制・目標：毎年1回、全社員に向けての環境教育を実施し、運用の変更や目標を確認 点検・整備：全5項目の運行点検を乗車の際に必ず実施し、「車両管理表」に記録 | <ul style="list-style-type: none"> 燃費費は「前年度比1%向上」を目標として掲げる | |
| 教育の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 環境問題 教育資料：自社独自の「エコドライブマニュアル」を作成 教育実施 | <ul style="list-style-type: none"> 社内イントラネット上に「環境表示板」を開設し、環境情報を共有 | |
| 燃費管理 | <ul style="list-style-type: none"> 燃費管理：「車両管理表」に車両担当者で記録した給油データをもとに、本社で燃費の分析を実施し、全国へフィードバック 燃費目標：前年度比1%向上が目標。その他、エリア毎の目標燃費を毎年設定 | <ul style="list-style-type: none"> 将来的に自社開発業務アプリでの燃費管理を目指す | |
| 活動成果と評価 | <ul style="list-style-type: none"> 燃費向上：平成23年度比で16.8%向上 事故管理：事故の発生件数と損害額の推移を集計し、分析 対外活動 | <ul style="list-style-type: none"> 毎年「環境報告書」を発行し、自社での取組内容や成果を広く公開 | |
| 継続実績と方策 | <ul style="list-style-type: none"> 活動継続：平成23年度より活動開始 エコカー等：ハイブリッド車及び燃費性能の高い車両への切り替えの他、ブレーキアシスト機能を標準装備化。テレマティクスを導入も推進 独自工夫：無事故無違反キャンペーンの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 車両後部にエコドライブステッカーを貼付、社外への啓蒙も実施 | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 会社としての環境保全活動が全国各地の拠点に浸透する仕組み

環境マネジメントシステムで取り組むエコドライブ

社長をトップとした環境マネジメントシステム(EMS)によりエコドライブ活動を推進。四半期ごとに環境管理責任者等で構成された環境管理委員会を開催し、全国における活動の進捗を確認。各拠点では、全拠点を15のエリア(管理単位)に分け、エリア毎の責任者を選定し、活動を実施。業務車両を保有しているエリアでは、エリア毎の燃費向上の目標を設定するなど、全社を挙げて取り組める体制を構築。



EMS組織体制

教育の実施

評価ポイント エコドライブの意識向上や事故撲滅のため、後職や配属先に応じた様々な講習を開催

冬道体験講習等の実践的エコドライブ教育を実施

新入社員の新人研修カリキュラムに自動車教習所での実技講習を取り入れ、運転技術だけでなく、エコドライブを意識した運転の習得を推進。

また、拠点長研修では外部講師を招き、「安全運転管理者講習会」を導入。

その他にも、積雪の少ない地域から積雪地域へ異動となった社員を対象に雪道での重大事故を防ぐため、「冬道体験講習会」を実施するとともに、ハイブリッド四駆車も導入。



冬道体験講習会 ポスター

活動成果と評価

評価ポイント 全社で事故撲滅を目指すために拠点毎に取組める工夫

「事故ゼロボード」による安全意識の向上

事故撲滅の対策として、拠点毎に無事故日数を明記した「事故ゼロボード」を作成し、全拠点に配布。

定期的に拠点毎の無事故日数ランキングを展開し、拠点の担当者がボードの無事故日数を更新する。

各拠点では、毎日の朝礼時に無事故連続日数を読み上げ、事故ゼロを目標とし、社員の意識の向上を目指すためのツールとして活用。



事故ゼロボード

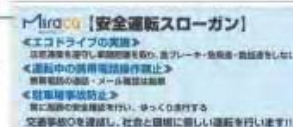
継続実績と方策

評価ポイント 常にエコドライブと安全運転を意識できる環境作り

「安全運転スローガン」等の各種ステッカーの工夫

自社で「安全運転スローガン」を策定。オリジナルのステッカーを作成し、社有車内の運転席から見える位置に貼り付け、安全・エコドライブ意識を醸成するとともに、車両後部に「エコドライブしています」ステッカーを貼り付け、外部へアピール。

その他にもエコドライブ10のすすめから5項目をピックアップして作成した「エコドライブ5」ステッカーも車内に貼付。社員に向けてのさらなるエコドライブの啓蒙がねらい。



安全運転スローガン





ネットトヨタ山形株式会社

所在地：山形県山形市東青田5-1-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：15
 従業員数：315名
 車両数：315台
 活動実績：5年



全社員が参加する「ネット・セーフティー&エコドライブ」

2014年に全社を挙げてのエコドライブ活動をスタート。社員へのエコドライブ活動の推進はもちろん、顧客や企業向けの啓蒙活動も積極的に行い、社内・社外の2本柱でエコドライブ活動を継続。
 また、社員が楽しんで活動に参加できるよう「マイカーも対象としたエコドライブコンテスト」などの工夫を凝らした取組を実施。
 近年は子ども向けのエコドライブ教室に社員が講師として参加するなど、活動の幅を広げている。

エコドライブ活動の成果

2014年度比

22%燃費向上
 事故件数62%削減
 (すべての事故)

受賞事業者の声

この度は、環境大臣賞を頂き、大変ありがとうございます。今後もエコドライブを通し、お客様のお役に立てるよう活動していきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

| <p>取組体制の整備</p> | <p>全体取組</p> <p>体制・目標</p> <p>点検・整備</p> | <p>CSR基本方針に基づき、全15店舗でエコドライブを推進</p> <p>本社総務部および各店舗の環境マイスター資格者を中心とした活動体制</p> | <p>業務管理システムを利用し、社員車・従業員車の定期点検記録を管理</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------------------------------|---|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| <p>教育の実施</p> | <p>職場啓蒙</p> <p>教育資料</p> <p>教育実施</p> | <p>ショールームへの啓蒙ポスター掲示・チラシ配布など、顧客に向けた啓蒙活動を実施</p> <p>山形県自動車公益センター提供の資料や「エコドライブ10のすすめ」などを社内教育に活用</p> | <p>店舗で毎月エコドライブミーティングを実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>燃費管理</p> | <p>燃費管理</p> <p>燃費目標</p> | <p>スマートフォンやPCからアクセスできる燃費管理サイト「やまがたカーライフ・エコ」を利用</p> | <p>燃費結果を毎月ランキング形式でフィードバック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>車種</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A車種</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>B車種</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>C車種</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> | 車種 | 4月 | 5月 | 6月 | A車種 | 1.8 | 2.0 | 3.0 | B車種 | 2.0 | 3.0 | 3.0 | C車種 | 1.8 | 2.0 | 3.0 |
| 車種 | 4月 | 5月 | 6月 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A車種 | 1.8 | 2.0 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B車種 | 2.0 | 3.0 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C車種 | 1.8 | 2.0 | 3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>活動成果</p> | <p>燃費向上</p> <p>事故管理</p> <p>特外活動</p> | <p>2014年度比で、22%燃費が向上</p> <p>各店舗でのお客様向けのエコドライブのほか、企業向けの出張エコドライブ教室を開催</p> | <p>無事故・無違反店舗を表彰</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>継続実績と方策</p> | <p>活動実績</p> <p>エコカー等</p> <p>独自工夫</p> | <p>2014年4月より活動開始</p> | <p>社内でエコドライブコンテストを開催し、成績優秀者を表彰</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施

評価ポイント 正しい知識を持った資格保有者が活動をけん引する仕組み

プロのカーライフサポーターとしてエコドライブを習得

2014年にエコドライブ活動をスタート。地球温暖化防止活動の推進、エコドライブの周知徹底などを目的とした「環境マイスター」資格制度を社内導入。資格保有者は店舗での教育を担当し、社内でのエコドライブ活動をけん引。資格取得のための第一歩として、新入社員は毎年行う入社後の研修でエコドライブの方法を習得。正確な知識を持ち、プロとしてお客様のカーライフをサポートすることで、経営理念である「山形一のお家のフルマヤさん」の実現を目指す。



新入社員研修

教育の実施

評価ポイント 楽しみながら全社でエコドライブに取り組める工夫

マイカーも対象とした全員参加のエコドライブコンテスト

毎年、社有車とマイカーを対象とし燃費を競うコンテスト「ネット・エコドライブ・コンテスト」を開催。1ヶ月当たりの平均燃費とリットル当たりの最高燃費を車種・車格別に4部門で集計し、年間を通して成績優秀な個人および店舗を表彰。マイカーも対象とすることで、全社員が参加することができ、通勤時や休日の運転におけるエコドライブ意識も醸成。



ネット・エコドライブ・コンテスト

また、こまめに成果を確認することで、社員が楽しみながら積極的に参加できるよう、1ヶ月毎のランキング速報を各店舗に展開。

継続実績と方策

評価ポイント 安全運転もテーマに加え、個人だけでなく企業に向けてエコドライブを推進

企業向け「ネット・セーフティー&エコドライブ教室」の開催

顧客に向けたエコドライブ教室のほかに、取引先企業を対象とした出張型の企業向けエコドライブ教室を開催。普段の運転とエコドライブ実践時の燃費を測定し比較する実技講習と併せて、セーフティー&エコドライブの運転方法を学ぶ座学講習を実施。



ネット・セーフティー&エコドライブ教室

エコドライブの正しい知識を学び、交通安全との関連性を知ること、自分の運転を見直してもらい、安全意識を向上させるねらい。

継続実績と方策

評価ポイント 地域の幅広いエコドライブ活動に参画

「こどもエコドライブ教室」への講師派遣

山形県と一般社団法人日本自動車販売協会連合会 山形県支部主催の「こどもエコドライブ教室」に、地球温暖化コミュニケーターの資格を有する社員を講師として派遣。



こどもエコドライブ教室

参加した子どもたちは地球温暖化の現状やエコドライブの効果についてクイズ等を交えながら学習し、「今できること=伝えられること」として、学んだ知識を身近な大人に伝えることでエコドライブを推進。





ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

所在地：東京都目黒区上目黒2-1-1中目黒GTタワー
 業務内容：製造業(自動車以外)
 拠点数：7
 従業員数：150名
 車両数：71台
 活動実績：3年



「環境負荷低減」を目指す企業ビジョン

2015年事故発生件数が過去最多を記録したことをきっかけに、社内の安全運転への意識が高まり、エコドライブ活動を開始。2030年までに社用車の100%をEV自動車化する「EV100」に署名するなど、全社を挙げた活動を継続。

また、**リース会社と連携して安全運転座学講習を開催**し、安全やエコドライブに関する教育を行うなど、社員全員のエコドライブ意識を醸成する取組を数多く実施。

エコドライブ活動の成果

2016年度比

3%燃費向上
事故件数33%削減
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度は受賞ありがとうございます。
 弊社では今後もSafety & ECO Driveの継続を活動指針として、より高い成果が挙げられるよう努力して参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|----------------|---|----------------------------|---------------------------------|
| | 全体概要 ・環境負荷を減らし、社会に貢献しながらビジネスの成長を実現する方法を示す「ユニリーバサステナブルビジネスプラン」に基づいて活動を実施 | | 交通安全委員会をトップとし、各営業所に車両安全運転管理者を配置 |
| 取組体制の整備 | 体制・目標 ・リース会社の専用システムにて全車両を一元管理 | 車両安全管理者 | |
| | 意識問題 ・車と地球環境に関する問題や環境負荷の軽減について、社内内外に広く啓蒙 | | リース会社より提供されるエコドライブに関する教育資料を活用 |
| 教育の実施 | 教育資料 ・トータルセーフティミーティングを毎月実施 | エコドライブ | |
| | 燃費管理 | 燃費管理 | ドライバー自身が給油毎の燃費を記録 |
| 燃費管理 | 燃費目標 ・車両のカテゴリ別燃費に対する達成率(80%以上)を燃費目標として設定 | 燃費管理表 | |
| | 燃費向上 ・2017年度比で、3%燃費が向上(HV2000cc以下) | 事故種別毎に事故発生件数を集計 | |
| 活動成果 | 事故管理 | | |
| 活動成果 | 脱外活動 | 事故種別毎に事故発生件数を集計 | |
| | 活動実績 ・2016年より活動開始 | 寒冷地を踏ま、全台ハイブリッド車を導入 | |
| 継続実績と方策 | エコカー等 ・興味を持ってエコドライブ活動に取り組んでもらうため、座学講習の内容をブラッシュアップ | | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

リース会社と協力することで内容の充実した講習を実施

受講必須の安全運転座学講習

エコドライブ推進担当者が年2回(2月・9月)全国の各営業所を巡回し、通勤を含め車両を使用する社員に対して安全運転座学講習会を開催。

リース会社と協力し、様々な教育資料を使用して安全やエコドライブに関する教育を実施。なお、座学講習を受講していない従業員は、社用車の運転を認められない。



教育資料

燃費管理

評価ポイント

徹底した燃費管理体制で入力漏れを防止

どこからでも簡単に燃費を入力・確認できる管理システム

燃費管理はリース会社の提供する燃費管理システムを使用しており、運転した社員自らが給油毎に燃費を入力。スマートフォンからでもアクセスが可能で、燃費実績もサイト内で確認可能。

マネージャー及び推進責任者が運行記録のチェックを行うほか、リース会社側のシステムでも異常と思われる走行データはアラートが出るようになっており、入力漏れを防止し、徹底した燃費管理を実現。



燃費管理システム

活動成果

評価ポイント

安全運転の意識を持たせる工夫

定期的な情報共有メールの配信

年間安全カレンダーを作成しており、エコドライブ・安全運転に関するトピックスや、天候や災害などへの注意喚起などを安全管理者にメールで週次配信。また、事故の発生状況なども月次で配信される。

配信された内容はエリアマネージャーから社員へ都度フィードバックし、その結果を推進責任者へ報告する。本社から営業所、最終的に社員へと定期的な情報共有を行うことで、会社全体のエコドライブ意識を醸成。



年間安全カレンダー

継続実績と方策

評価ポイント

社員同士でエコドライブのコツを共有

燃費優良者の表彰・事例の発表

燃費改善率で順位を付け、各営業所から1名ずつ年間の燃費優良者を決定。毎年2月に開催している安全運転座学講習会の中で表彰。活動に継続して取り組む社員のモチベーションを維持するねらい。

さらに、受賞者は講習会の中で自身が実践しているエコドライブのコツなどを発表。好事例を共有することで、他社員のエコドライブ技術向上の効果も期待される。



表彰式





沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：44
 従業員数：1,210名
 車両数：933台
 活動実績：8年



地域特性を活かし、社員のやる気を引き出すエコドライブ活動

2011年のエコ宣言をきっかけに、2012年よりエコドライブ活動をスタート。交通事故の防止と沖縄の自然環境を次世代に残すことを目指し、エコドライブ活動に取り組む。
社内だけでなく社外にも波及性の高いエコドライブ活動を積極的に実施。顧客に加えて社員も参加できるエコドライブコンテストや地域独自の走行シーンを考慮した目標設定など独自の取組が特徴。

エコドライブ活動の成果

2011年度比

27.5%燃費向上
事故件数23.1%削減
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度、2回目の最優秀を受賞し、身に余る光栄でございます。受賞後は地元新聞社2紙でも取り上げられ、多くのお祝いお言葉を頂き、エコドライブ活動をサポートしている企業様からは、さらなる講習会の依頼も頂戴しました。クルマを仕事にしている私たちがさらなる活動を今後も展開していきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|---------|-------|---------------------------------|----------------------------------|
| 取組体制の整備 | 全体取組 | ・年度方針書にエコドライブの項目を明記し全社員に配布 | 対前年比3%改善の年間燃費目標を設定 |
| | 体制・目標 | | 3% UP |
| 教育の実施 | 点検・整備 | ・年1回の点検および半年に1回のオイル交換を義務付け | |
| | 職場問題 | ・エコドライブ10のすずめを参考にした啓発ポスターを作成、掲示 | 毎月エコドライブのテーマを決め、教育資料を各店舗に配布し活用 |
| 燃費管理 | 教育資料 | ・新人社員向け、エコドライブ研修を実施 | エコドライブ10 |
| | 燃費目標 | ・燃費管理サイトにて、各個人で自身の燃費を管理 | 燃費目標は会社目標に加え、車両条件を考慮し個人(車種)ごとに設定 |
| 活動成果 | 燃費向上 | ・2011年度比で27.5%燃費が向上(HV2000cc以上) | 独自に発行している情報誌にてエコドライブ掲載ページを掲載 |
| | 事故管理 | ・2013年度比で54.5%事故が減少 | エコドライブNEWS |
| 継続実績と方策 | 対外活動 | | 年度方針発表会にて「燃費王」ランキング上位を表彰 |
| | 活動実績 | ・2012年より活動開始 | 表彰状 |
| 継続実績と方策 | エコカー等 | ・社会車/試乗車の約9割はHV車もしくはアイドリングストップ車 | |
| | 独自工夫 | | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

社外にも良い影響を与えるエコドライブ活動

お客様も社員も360°でエコドライブを普及

2020年度より、活動をグループ展開し、OTMグループとして約1,200人規模協同のエコドライブ活動を開始。グループ全体にエコドライブ活動を推進することで、「燃費王決定戦」の活動周知や募集範囲を拡大するなど、波及性の高いエコドライブコンテストがさらにレベルの高い取組に昇華。
 さらに「PHV 大人の自由研究」と題し、2年間の月別燃費やソーラー充電への考察などをまとめたレポートを作成した顧客もいるなど、同社のエコドライブ活動は対外的にも大きな影響を与えている。



燃費王決定戦2020

燃費管理

評価ポイント

地域の特性を考慮したモチベーション維持の取組

渋滞など走行地域の状況を考慮した燃費目標を設定

沖縄トヨタ自動車主催の燃費管理サイト「燃費王」では、社員一人ひとりにアカウントが設けられており、業務時だけでなく自家用車での通勤時の燃費管理にも活用。
 沖縄では那覇市などの市街と郊外では、渋滞により燃費に大きな差が生じるため、設定する店舗や住所によって渋滞を考慮した個人燃費目標を算出。燃費目標達成率が走行環境に左右されにくくなっている。



燃費管理サイト「燃費王」

活動成果

評価ポイント

自社実績や分析した燃費データを活用した対外活動

出張講習会など企業向けエコドライブサポートを実施

各店舗のエコドライブ担当者が企業向けエコドライブ講習会を開催。講習会后、申し込みがあった企業には実際に訪問し、日常点検や実車を使ったエコドライブ講習、座学講習などを実施。
 燃費管理サイトで収集したデータをもとに燃費の分析を行い、訪問・面談などを通して結果のフィードバックやアドバイスを提供。過去実績は24社にのぼり、自社の活動実績をもとに、他社のエコドライブ活動のサポートにも注力している。



エコドライブ講習会

継続実績と方策

評価ポイント

社員のエコドライブ意識向上につながる表彰制度

競争意識を高めるランキング表示と社内表彰

燃費管理サイト「燃費王」を活用し、各個人がスマホやPCで自身の燃費を管理。給油ごとに個人目標や車両のカタログ燃費との比較が可能のため、振り返り材料として活用。入力した燃費は集計し、社内ランキングを作成しており、サイトトップにて周知。競争意識を高め、エコドライブ活動への積極的な参加を促す。さらに、燃費結果の優秀者を全社員の前で表彰することで、モチベーションアップにもつながっている。



社内表彰





メルダシステムエンジニアリング株式会社

所在地：愛知県名古屋市東区葵1-19-30
 業務内容：流通業(小売業)
 拠点数：9
 従業員数：144名
 車両数：52台
 活動実績：9年



ワンチームを目指して取り組むエコドライブ活動

販売会社のため、営業担当者による個人主体の業務が中心となることから、全社員が一つのチームとして活動する機会が少なかった。そのため、**全社員がワンチームとなつて一つの目標に向かって成果を出せる活動**がしたいとの気運が高まりエコドライブ活動を開始。
 毎月1回、独自のエコドライブ全社月報を発行。部門・拠点単位での燃費実績や給油実績、エコドライブ実施状況、運転者別での燃費ベスト5などを掲載し、社内イントラネットを用いて周知することで全社員への浸透を図っている。

エコドライブ活動の成果

2016年度比
22.2%燃費向上
事故件数37.5%削減

受賞事業者の声

活動をはじめ9年でこの様な名譽ある賞を頂く大変嬉しく光栄に感じております。
 今後も更なる「環境に優しい企業」を目指し取り組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | | |
|--|----------------|--|----------------|--|
| | 全体取組 | ・ISO14001の活動として全社でエコドライブに取り組む | 取組体制の整備 | ・社長がトップ、管理部長が推進責任者となり、ISO委員が実務を行いエコドライブ活動を推進 |
| | 体制・目標 | | 取組体制の整備 | |
| | 点検・整備 | | 取組体制の整備 | |
| | 職場問題 | ・独自の環境方針カードを全社員が携帯 | 教育の実施 | ・JAFや環境省などの教育資料を使用 |
| | 教育資料 | | 教育の実施 | |
| | 教育実施 | | 教育の実施 | |
| | 燃費管理 | ・ドライバーが給油した際に運転日報へ給油量、給油時の距離、燃費を記入し毎週提出したものを管理部で一括管理 | 燃費管理 | ・ドライバーが給油した際に運転日報へ給油量、給油時の距離、燃費を記入し毎週提出したものを管理部で一括管理 |
| | 燃費目標 | | 燃費管理 | |
| | 燃費向上 | ・2013年度比で、36.1%燃費が向上(改善したことで5百万円/年のガソリン代を削減) | 燃費管理 | |
| | 事故管理 | ・2016年度比で、事故件数が37.5%減少 | 燃費管理 | |
| | 活動成果 | | 燃費管理 | |
| | 活動実績 | ・2011年より、燃費向上や交通事故削減を目的にエコドライブ活動を開始 | 燃費管理 | |
| | エコカー等 | ・ガソリン車からHV車への切り替えを促進しており、社有車の76.9%がHV車 | 燃費管理 | |
| | 継続実績と方策 | | 燃費管理 | |
| | 独自工夫 | | 燃費管理 | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

全社一丸となって取り組むエコドライブ活動の組織構成

全社員で取り組むエコドライブ活動

全社員が「ワンチーム」となり、一つの目標に向かって取り組むツールとしてエコドライブ活動に注力。
 エコドライブ活動において事故減少やコストダウンなど明確な効果を出すため、社長をトップとしたエコドライブ推進組織を設置。
 さらに、各拠点にエコドライブ推進担当者を配置することで、全社一丸となって活動を推進。また、エコドライブ活動のサポートとして、安全衛生活動やISO14001の活動などと連動。



エコドライブ推進組織

教育の実施

評価ポイント

多くの教育機会を設け社内のエコドライブに関するノウハウを向上させる工夫

社外講習を活用しつつ、社員を社内のインストラクターに認定

部門ごとに教育計画を策定し、地球環境に関する社内講習の実施や、自社環境方針カードを全社員が携帯するなど環境面からのエコドライブ教育に注力。
 また、社内インストラクターを増員するため、会社として自治体やJAFが主催する「エコドライブ講習会」へ積極的に参加しており、社員のモチベーション維持やエコドライブ技術の向上を目指す工夫を継続的に実施。



エコドライブ講習会

教育の実施

評価ポイント

業務で運転しないドライバーも対象とした教育

Eラーニングを活用した社内のエコドライブ教育

月に1回、運転免許を持っている社員全員を対象に交通安全教育に関するEラーニングを実施。
 カリキュラム内にはエコドライブに関する教育も含まれており、エコドライブが交通安全につながる点をわかりやすく啓発することで、会社全体のエコドライブ意識を向上。



Eラーニング

継続実績と方策

評価ポイント

部門ごとの燃費を集計しエコドライブの結果を全社員に周知

「エコドライブ全社月報」「部門別月報」を毎月発行

部門担当者ごとにエコドライブの実施状況をチェックシートに記入し、部門ISO委員が燃費実績と併せて取りまとめ、その結果を踏まえて上長がコメントを記載。その後、ISO事務局が全部門より集めた「エコドライブ部門別月報」を集計し、「エコドライブ全社月報」にまとめ全社員に展開。
 さらに、コラムなども掲載し、エコドライブをより身近に感じられるよう工夫するなど、社員のエコドライブ意識の向上に貢献。



エコドライブ部門別月報 エコドライブ全社月報



株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
 WBGマリヴウエスト14階
 業務内容：金融・保険業
 拠点数：1
 従業員数：729名
 車両数：172台
 活動実績：6年



テレマティクスを活用した社内外向けのエコドライブ活動

2015年よりエコドライブ活動をスタート。継続的に活動を進めていく中で、テレマティクスを活用した取組の効果に着目。エコドライブの習慣化を目的としたテレマティクスの活用を積極的に推進している。
 また、毎年開催しているカーリース顧客向け「エコ&セーフティードライブコンテスト」では「**テレマティクス活用部門**」を新設。社内だけでなく、社外へもテレマティクスを活用したエコドライブ活動を推奨する活動も行っている。

エコドライブ活動の成果

2015年度比
16.6%燃費向上
 (ガソリン車2000cc以下)
85.3%削減
 (すべての事故)

受賞事業者の声

環境大臣賞の受賞は大変光栄な事であると同時に、肩が引ける思いでもあります。
 日産グループの企業として「ZERO EMISSION」「ZERO FATALITY」の実現に貢献できるよう、この取組を社員一丸となり、さらに推進し広くお客様に普及させていきたいと考えております。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | |
|----------------|--|--|
| 取組体制の整備 | 全体取組 体制・目標 ・事故率、燃費を年度目標に設定し、社内に周知。結果は各部門会議などで全社に共有 点検・整備 ・「社用車整備ガイドライン」にて点検・整備の方針を明記 | 行動規範にて「環境安全・交通安全」を明記しインターネットで全社員に周知 |
| 教育の実施 | 現場問題 教育資料 ・エコドライブシンポジウムの講演資料を活用。さらに「個別」「目的別」等に分け効率的な教育を実施 教育実施 ・テレマティクスデータを基に、OJT、Off-JT、自己啓発を軸に教育を実施 | 年に1度、全社員を対象とした、行動規範研修を行い、理解度測定を実施 |
| 燃費管理 | 燃費管理 燃費目標 ・2015年比で10%の燃費改善を目標に明記 燃費向上 ・2015年度比で16.6%燃費向上(ガソリン車2000cc以下) | 燃費情報は、社用車別、部門別、車種別など細かく把握し会社に公開 |
| 活動成果 | 事故管理 特殊活動 ・顧客企業向けのエコドライブ体験試乗や「セーフティードライブコンテスト」の開催 活動実績 ・年度初めに「年度取り組み計画」を提示 | テレマティクスの運転行動と事故・燃費・燃費率を分析。分かりやすい情報を提供しドライバーの行動変容とその習慣化を推進 |
| 継続実績と方策 | エコカー等 継続工夫 ・テレマティクスの運転診断・各種検知データを分析し、組織から個人に焦点をあてた教育の実施 | エコカー(EV・e-power車・軽自動車)、安全対策施設車(緊急ブレーキ等)の積極的な導入 |

エコドライブ活動 主な応用取組

| | |
|----------------|--|
| 取組体制の整備 | 評価ポイント 役員筆頭の推進体制とエコドライブの習慣化へのアプローチ |
|----------------|--|

企業一丸となって実施するエコドライブ活動

「業務における事故から社員を守りたい」といった経営方針のもと、加害・被害、人身・物損を問わずすべての事故を対象とした事故削減を目指しており、事故の未然防止のための運転行動としてエコドライブを推進。
 全社一丸となってエコドライブ活動を推進するため、役員を筆頭に部長、次長クラスの幹部メンバーで構成されたエコドライブ推進体制を構築。月1回の定例会議では、毎月の走行データや燃費推移を展開するなど、エコドライブの進捗管理を実施。さらに、テレマティクスの点数や事故状況、燃費の推移を部署別に管理。現場のマネジメントに落としこんでいる。これにより現場でもテレマティクスの点数や動画などを共有し話題とする文化ができつつある。



エコドライブ推進体制

| | |
|--------------|---|
| 教育の実施 | 評価ポイント テレマティクスデータの徹底活用、リモート講習など先進的なエコドライブ活動 |
|--------------|---|

豊富なデータと経験に基づくドライバー教育

社内教育資料には、安全な運転行動がエコドライブであることを納得してもらう資料を独自に作成。エコドライブでなぜ事故が減るかを具体的に示したほか、テレマティクスから得られる自社の事故動画や危険な運転動画などを教育資料に反映し、社内で得られた知見を蓄積し活用。
 また、継続的な活動でエコドライブが社内に定着しつつあり、総花的な講習会から、新入社員や新任管理職にターゲットを絞った講習会を行っている。さらに、オンラインを活用したリモート講習も実施。場所や時間の制約が少なくなり、受講率が向上。社内でも実施したリモート講習の手法を顧客企業へも広めている。



社内講習資料

| | |
|-------------|---|
| 活動成果 | 評価ポイント 顧客企業へのエコドライブ波及効果のある取組を実施 |
|-------------|---|

顧客向けコンテストに「テレマティクス活用部門」を新設

カーリース契約の顧客向けに毎年開催している「エコ&セーフティードライブコンテスト」にて、テレマティクス活用部門を新設。顧客企業を巻き込んだ取組でテレマティクス活用を積極的に推進することで、社外にも効果的なエコドライブの取組方法を広めている。
 エコドライブの実施度合いをテレマティクス機器によって点数化し、目標設定に利用することを顧客企業に推奨。テレマティクス機器の導入だけに注力するのではなく、効果的な活用方法など、当社で蓄積したノウハウを広く顧客企業へ公開し、顧客のエコドライブ・事故削減を推進している。



テレマティクス活用部門

| | |
|-------------|---|
| 活動成果 | 評価ポイント エコドライブの習慣化に関する分析とその結果の波及活動 |
|-------------|---|

テレマティクスを活用したエコドライブの論文を発表

今までの活動の成果からエコドライブと事故削減の学術的なアプローチとして、論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」を作成。日本交通心理学会にて発表することで、テレマティクスを活用したエコドライブの推進が事故削減に成果をもたらすことを学会会員へ訴えた。
 この論文は大手自動車教習所のコラムに取り上げられるなど、更なるエコドライブ普及に向けて影響を与えている。



論文「テレマティクスを活用した「エコドライブ+法令順守」の習慣化」



さいたま市役所

所在地：埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-4
 業務内容：行政機関
 拠点数：17
 従業員数：15,659名
 車両数：1,156台
 活動実績：13年



市役所・市民・事業者が一体となって進めるエコドライブ活動

さいたま市では2005年に「さいたま市交通環境プラン」を策定し、自動車からの環境負荷の低減活動を実施。2008年にはエコドライブ取組方針を設定、本格的なエコドライブ活動の取組を開始した。
 エコドライブ普及推進のため市民、事業者及び、市内向け事業としてそれぞれ取組を実施。特に市民向けとしてはPR活動や **テレビ、ラジオ、SNSなどを活用して** エコドライブに関する情報を発信している。

エコドライブ活動の成果

2007年度比
11.8%燃費向上
 (HV2000cc以下)
事故件数66.7%削減
 (重大事故)

受賞事業者の声

エコドライブの活動を継続して行ってきたことが、「優秀賞」として評価されたので、とても光栄に思います。
 今後も自動車による環境負荷を低減するため、継続して取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | | |
|----------------|--|--|---|---|
| 取組体制の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 全体取組 体制・目標 点検・整備 | <ul style="list-style-type: none"> 2005年さいたま市交通環境プランをスタート、2008年エコドライブ取組方針を設定、2011年さいたま市交通環境プランを改正 公用車を運転する職員全員(約6,000人)が活動に取り組み体制を整備 | <ul style="list-style-type: none"> 公道運用の手続きを定め、公用車を使用することによる事故率により点検実施 | |
| 教育の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 現場啓発 教育資料 教育実施 | <ul style="list-style-type: none"> エコドライブ取組方針の目標にて環境問題について啓発 エコドライブ取組方針及びエコドライブ実施要綱を定め、職員へ周知 | <ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめに基づいたエコドライブチェックシートで同乗者による啓発活動 | <ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめに基づいたエコドライブチェックシートで同乗者による啓発活動 |
| 燃費管理 | <ul style="list-style-type: none"> 燃費管理 燃費目標 | <ul style="list-style-type: none"> 公用車を所管する各課所が毎月、自動車運行管理表を提出、燃費データはシステムに登録、管理している | <ul style="list-style-type: none"> エコドライブ取組方針にて二酸化炭素排出量35%削減を定める | <ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素排出量 |
| 活動成果 | <ul style="list-style-type: none"> 燃費向上 事故管理 対外活動 | <ul style="list-style-type: none"> 事故データは車両の管理部門にて管理 市民向けエコドライブ普及として市ホームページやSNSによる普及・啓発を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 2007年度比で11.8%燃費向上(HV2000cc以下) | <ul style="list-style-type: none"> 燃費 |
| 継続実績と方策 | <ul style="list-style-type: none"> 活動実績 エコカー等 独自工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 2008年エコドライブ取組方針を設定し、エコドライブの全庁的な取り組みをスタート 2009年度から電気自動車普及施策としてE-KIZUNA Projectを取り組む 公用車を新車購入する際は原則、次世代自動車としている | <ul style="list-style-type: none"> 毎月22日をエコドライブの日と定め、のぼり旗を車両出入口に設置、職員及び乗客へ啓発 | <ul style="list-style-type: none"> 毎月22日をエコドライブの日と定め、のぼり旗を車両出入口に設置、職員及び乗客へ啓発 |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント **さいたま市としてのエコドライブ推進計画を作成**

三位一体(市役所・市民・事業者)で進めるエコドライブ活動

2008年4月より「さいたま市エコドライブ取組方針」を制定。職員のエコドライブを徹底し公用車の走行距離当たりの二酸化炭素排出量等集計と報告を推進している。
 2011年3月より市役所として市民向け、事業者向けに取組を実施。市民向けでは自動車運転免許更新時にエコドライブを広報。事業者向けにはエコ通勤優良事業所認定推進事業を実施している。



さいたま市エコドライブ取組方針

燃費管理

評価ポイント **約6,000人の燃費データを集計分析する体制を整備**

徹底した役割分担で大規模組織のエコドライブ活動を実現

公用車を保有する各課所ではドライバーが走行距離や給油量を手書きで記録し、1か月間の手書きデータを各課所の担当者が自動車運行記録表へ集約。さらに、作成された自動車運行記録表を環境部門と車両の管理部門が共同で回収し、データ分析を行うことで市役所全体の燃費やCO2排出量を計算している。
 また、全車両の走行距離・給油量・燃費のデータは環境部門が管理し、燃費データは埼玉県とも共有している。



自動車運行記録管理表

活動成果

評価ポイント **地域社会に貢献するエコドライブ普及活動**

市民向け・事業者向けのエコドライブ講習やキャンペーンを開催し、意識造成

市役所として事業者に向けてエコドライブ講習会などを実施し、地域へのエコドライブ推進に貢献。
 また、市民向けのエコドライブの啓発活動として、市内ショッピングモールにて「タイヤチェックで燃費アップ!」イベントを埼玉県タイヤ協同組合や自動車教習所等と連携し開催している。
 対面での啓発が難しい時期は、さいたま市に設置されている大型ビジョンにてエコドライブ推進の動画を上映等、地域住民のエコドライブ意識アップを図っている。



ショッピングモールでの啓発活動

継続実績と方策

評価ポイント **非対面でのエコドライブ推進活動の実施**

SNSの活用など新たな取組も積極的に実施

従来の事業者や市民との対面イベント以外にも、エコドライブを普及するための新たな取組に注力。テレビやラジオでのエコドライブ実施の呼びかけや、ブログやSNSなどインターネットサービスを活用した啓発活動も実施している。
 様々な手法で情報発信を行うことで、多くの市民や事業者にもエコドライブの重要性や取り組み方を広く普及している。



さいたま市のSNSアカウント



DINS関西株式会社 GE事業所

所在地：大阪府西区築港新町1-5-38
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：74名
 車両数：8台
 活動実績：16年



質の高い取組をグループ全体に浸透するよう活動

環境保全活動の一環としてエコドライブ活動を開始。具体的な目標値を設定し、車種・使用用途ごとの燃費管理や講習の実施など、質の高いエコドライブ活動を行っている。コロナ禍で講習会等が中止になる中、**社内独自で従業員向け講習を実施**し、レベルの高い活動を継続し、現在では社内全体に質の高いエコドライブの取組が波及し始めている。

エコドライブ活動の成果

2007年度比
22.1%燃費向上
 (小型自動車)
無事故継続
 (すべての事故)

受賞事業者の声

環境大臣賞という栄誉ある賞を受賞でき、大変光栄です。今回の受賞を励みに、今後も従業員一丸となりエコドライブに努めてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|---------|-------|-----------------------------------|---|
| 取組体制の整備 | 全体取組 | ・エコアクション21環境活動を通じ、エコドライブ活動を実施 | 毎月エコドライブの進捗をまとめ、エコアクション21委員会にて確認、管理 |
| | 体制・目標 | ・日常点検は車両使用ごとに実施、定期点検は時期・ルールを決めて実施 | |
| 教育の実施 | 職場巡回 | ・エコアクション21委員会にて環境問題について毎月講演 | 年に2回、自動車の使用用途別に講習を実施 |
| | 教育資料 | ・使用用途が異なるため、車両特徴ごとに教育資料を分けて教育 | |
| 燃費管理 | 燃費管理 | ・記録した燃費データを毎月のエコアクション21委員会にて報告 | 取組目標一覧表にて次年度以降、中長期的燃費目標を設定 |
| | 燃費目標 | | |
| 活動成果 | 燃費向上 | ・2007年度比で 22.1%燃費向上(小型自動車) | 毎年、会社ホームページのエコアクション21進捗レポートにエコドライブ活動に関する情報を掲載 |
| | 事故管理 | ・エコドライブ活動以前より事故件数を管理 | |
| 継続実績と方策 | 対外活動 | | 全員参加型の「内部コミュニケーション」において活用文庫や提案を実施 |
| | 活動実績 | ・2006年より活動開始 | |
| | エコカー等 | ・コネクティッドカーを導入し走行データや燃費などをクラウドで管理 | |
| | 独自工夫 | | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント 活動成果などを効率的に水平展開する仕組みを構築

エコアクション21委員会を起点とした情報共有の仕組みづくり

毎月、各部署のエコアクション21委員が集まる委員会を開催し、燃費結果を含む環境活動の進捗状況を報告。報告内容は部署ごとに実施する内部コミュニケーションで共有され、全従業員に周知できる仕組みが構築されている。

さらに、エコアクション21の活動を通してエコドライブだけでなく、「ガス」「電気」「水」「廃棄物」削減などにも取り組んでいる。全社で取り組むことで、環境活動や環境負荷低減の意識を醸成。エコドライブに取り組む目的の幅が広がり、より従業員に浸透しやすくなった。



エコアクション21委員会

教育の実施

評価ポイント 燃費改善につなげる工夫を凝らしたエコドライブ活動

車両の使用用途別の講習や独自の教育資料を作成

全従業員に向けて実践的なエコドライブ教育を行うため、一般従業員の他、収集運搬車ドライバー向けのエコドライブ講習も実施。業務内容により運転する目的や車種が異なるため、収集運搬車と一般車で教育内容を分けていることで、より効率的な燃費改善につなげている。

また、社内講習会に加え、堺市環境指導課のエコドライブ講習も受講。近年はコロナ禍により開催されないため、社内の担当者が教育資料を作成し従業員向けに講習を実施。活動を推進する社内メンバーの創意工夫により、高いレベルでの取組を続けている。



大型車用・普通車用講習会

活動成果

評価ポイント 徹底した燃費把握で取り組むエコドライブ活動

細やかな燃費分析や燃費計で取組を活性化

担当部署が満タン法で燃費を算出し、車種毎の燃費推移を管理。目標達成・未達の要因を毎月分析し記録している。

また、ドライバーが常に瞬間燃費と平均燃費を把握できるよう燃費計を活用。車両に燃費計が標準搭載されていない場合は燃費計を後付けし、全車両でアクセルの踏み方による燃費の変化などがすぐに把握できるようにしている。

エコドライブの実践結果を分かりやすくドライバーに伝わるように工夫することで、意識高く活動を実施できる体制を整えている。



燃費計の活用

活動成果

評価ポイント 1つの事業所で始めた活動が企業全体に波及

エコドライブの取組が企業全体の環境活動のレベルアップに貢献

もともと別会社だった4つの事業所が個別の環境活動を行っていたが、近年は徐々に取組内容を統合。その結果、GE事業所が実施していた質の高いエコドライブ活動はDINS関西全体の環境活動のレベルアップに貢献している。

今後はさらなる活動規模拡大に向けて、グループ企業全体で高レベルなエコドライブ活動に取り組むことを目指していく。



グループ体制図





仲田総業株式会社 川田事業所

所在地：栃木県宇都宮市川田町836-3
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：25名
 車両数：39台
 活動実績：13年



現場の意見を積極的に活動に取り入れ活動レベルを高める

2009年に取得したグリーン経営認証とエコアクション21をもとに、全社的にエコドライブ活動に取り組んでいる。トップダウンでの制度や仕組みづくりだけでなく、現場ならではの気づきを取組に活かし車両ごとに異なる目標を設定するなど、ドライバーの積極的な取組参加を図る。

エコドライブ活動の成果

2020年度比
6.9%燃費向上
(中型ディーゼルス)
事故件数50.0%削減
(保険適用)

受賞事業者の声

この度は大変名誉ある「優秀賞」をいただき誠にありがとうございます。エコドライブ活動は経営と現場が一体となり、総力を結集して取組んだことにも評価を頂いたものと心より御礼申し上げます。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|---------|-------|---|--|
| 取組体制の整備 | 取組体制 | グリーン経営認証、エコアクション21に基づきエコドライブ活動を実施 | 経費削減に、燃費、事故防止/エコドライブ活動、管理/車両ごとにそれぞれ目標を設定すること、実施体制を構築 |
| | 体制・目標 | 高検-整備 | タイヤの空気圧や排ガス(黒煙)を定期的にチェック |
| 教育の実施 | 教育期間 | 環境行動計画を策定し、全社的にエコドライブ活動に取り組む | 毎日の社内安全教育マニュアルの読み合わせによる安全管理 |
| | 教育資料 | 教育実施 | 毎月ドライバー全員が安全運転自己診断書を提出し、心身健康の把握と管理 |
| 燃費管理 | 燃費管理 | 燃費データはエコドライブ管理責任者が管理、集計、結果は本社の総務課でダブルチェック | グリーン経営認証、エコアクション21に拠る目標として燃費目標を設定 |
| | 燃費目標 | | エコドライブ活動コンクールへの参加を地元新聞や車庫への大型ポスター貼付などで告知 |
| 活動成果 | 燃費向上 | 2020年度比6.9%向上(中型ディーゼルス) | |
| | 事故管理 | 事故は自社指定の報告書で管理 | |
| 継続実績と方策 | 活動実績 | 2009年より活動開始、同年にグリーン経営認証を取得 | 3か月単位でエコドライブと安全運転を評価、表彰する取組を実施 |
| | 独自工夫 | テレマティクス装備車のドライバーには運行データを活用した教育を実施 | |

エコドライブ活動 主な応用取組

教育の実施

評価ポイント：専門性の高い教育・指導を行う工夫

各分野の専門家を講師に招くエコドライブ講習

長年取引をしているエコドライブ活動に関係する専門家を招き、定期的に講習会や指導を依頼。自動車販売メーカーやタイヤメーカー、保険会社など様々な分野の専門家からの指導を受けることで、ドライバーだけでなく、管理・担当者も新たな気づきが得られている。また、複数の分野について講習を受けることでマンネリ化を防げるとともに、エコドライブを楽しむポイントが見つけやすく、ドライバーの積極的な活動参加につながっている。



講習会風景

燃費管理

評価ポイント：運搬重量などを考慮してエコドライブの実施度合いを評価

徹底したデータ分析により実現した納得感のある燃費指標

燃費データは運行日報に基づき全車両の走行距離、給油量、運搬重量を毎日PCに入力し管理。さらに、3か月ごとに燃費データを集計し社内連絡表に記載することで、ドライバーを含む全従業員にエコドライブ活動の成果を共有している。また、各ドライバーのエコドライブの実施度合いは、単純な燃費結果だけでは判断せず運搬重量なども考慮した独自の指標で評価。実態に合わせた燃費評価ができるよう工夫することで、ドライバーが納得感を持ってエコドライブ活動に参加できている。



燃費データの提示

活動成果

評価ポイント：現場の意見を取り入れて燃費改善を実現

車両の使用用途や車両タイプ別に実施するエコドライブの工夫

日々のエコドライブに加え、車両タイプ別に様々な工夫を取り入れている。普通貨物車両では、運搬用途に廃プラスチック類を増やし積載量を軽減。さらに運行ルートの見直しを行い、エコドライブとの相乗効果により、2020年度比で燃費が41%向上した。また、短い距離の運転が多く燃費向上が難しい中、現場のドライバーが主導的に対策を考案。加速や減速を丁寧に行い、アイドリングの時間を減らすなど工夫を重ね、中型貨物車両では7%、大型貨物車両では12%の燃費向上を達成。堅実な取組を続けていくことで、大幅な燃費改善につながった。



燃費管理・分析

継続実績と方策

評価ポイント：活動を継続させるための意識醸成の取組

朝礼や車両清掃でドライバーのエコドライブ意識をアップ

継続が大切であるという考えから、毎日朝礼にて「エコドライブ10のすすめ」から1標語を唱和。エコドライブの意識付けを行っている。さらに、ドライバーが安心して運転できるよう、常に自社内で車両整備や清掃を徹底。整備された綺麗な車両と清潔な服装で仕事ができる環境を構築することで、ドライバーのエコドライブの実施度合いが高まった。小さな取組も着実に実行・継続したことで、エコドライブ意識だけでなく運転行動にも変化をもたらした。



車両清掃の徹底



エステー株式会社

所在地：東京都新宿区下落合1-4-10
 業務内容：日用品メーカー
 拠点数：9
 従業員数：953名
 車両数：111台
 活動実績：1年



2021年の活動開始から短期間でレベルの高いエコドライブ活動を実施

環境に関する取組として「みんなの地球の空気のために」をテーマに脱炭素化・再資源化の取組を推進。その一環としてCO2排出削減を目的にエコドライブ活動を開始。

2021年から活動を開始し自社で作成した資料や動画などを活用した教育を実施。今後も活動の趣向を凝らし、更なる燃費改善を目指す。

エコドライブ活動の成果

2021年度エコドライブ活動スタート
1.4%燃費向上
 (全車)
無事故継続
 (重大事故)

受賞事業者の声

貴社の取組を「優秀賞」として評価頂きまして、誠にありがとうございます。今回の受賞は、当社の事業活動において大きな励みとなります。貴社は、気候変動への対応を重要課題と捉えおられますので、引き続き、安全運転・エコドライブを実施し、環境保全に取り組んでまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

| | | | |
|---------|-------|-----------------------------------|---|
| 取組体制の整備 | 全体取組 | ・環境への取組の一環として、エコドライブ活動を推進 | リース会社の点検整備に加えて従業員による乗車前後の日常点検を実施 |
| | 体制・目標 | ・営業本部長をトップとしたエコドライブ活動体制を構築 | |
| 教育の実施 | 職員研修 | ・社内広報を作成し、環境問題とエコドライブの情報を周知 | 座学講習や入社時の実車講習でエコドライブ教育を実施 |
| | 教育資料 | ・独自に教育資料を作成、展開 | |
| 燃費管理 | 燃費管理 | ・運転日報と社内システムを活用し燃費を管理 | エコドライブ活動開始前の燃費を基準として、1年で5%の燃費改善を目指す |
| | 燃費目標 | | |
| 活動成果 | 燃費向上 | ・2021年度比で1.4%燃費向上(全車) | 事故件数について管理し、安全運転定例会や環境活動推進委員会にて結果を把握共有 |
| | 事故管理 | | |
| 継続実績と方策 | 活動実績 | ・2021年11月より活動開始 | ハイブリッド車に導入し、2022年3月1日現在で76.9%の導入率を達成し、2022年3月1日現在で76.9% |
| | エコカー等 | | |
| | 他商品工夫 | ・安全運転やエコドライブの取組に関して支店ごとに社長賞を授与される | |

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント エコドライブに縛られない幅広い環境活動

CO2排出量の削減を目的とした様々な環境への取組

ESG取り組みに基づき、エコドライブ活動を実施。営業本部本部長をトップに、営業支援グループが中心となってエコドライブ活動に取り組んでいる。また、営業車のエコドライブ活動以外にも会社としてのCO2排出量削減を目的に、再生エネルギーの導入を推進。他にも、自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換するモーダルシフトの推進など、環境に配慮した取組を積極的に実施。



中長期ESG推進プラン「空気をかえようAction 2030」

教育の実施

評価ポイント 従業員の運転レベルに合わせた実車講習

ドライバーへのアンケートを実施し取組を改善

営業車を使用する従業員に対して、年に1度エコドライブに関する座学講習を実施。講習内容についてアンケートを行い、次年度以降の改善に役立てている。また、車の運転に慣れていない新入社員が増えていることから、座学のみでなく毎年新入社員に対してドライビングスクールでの実車講習も実施。座学だけでなく実車での講習も行うことで、実地的なエコドライブ教育が可能。



アンケート結果の分析

教育の実施

評価ポイント 教育資料を自社内で作成することで管理者側もレベルアップ

自社作成資料や動画で行うドライバー教育

自社でセーフティ&エコドライブNewsという独自資料を月に1度作成し、発行。エコドライブのコツや走行パターン別のポイントなどをまとめており、従業員へ適切な情報提供を行っている。さらに、コロナ禍で外部講師を招いての講習が実施できなかったため、自社で動画を作成。各事業所に視聴してもらうことで、継続してエコドライブ教育を実施。エコドライブ教育を最大限工夫することで、短期間で高い活動レベルを実現。



セーフティ&エコドライブNews

燃費管理

評価ポイント 燃費改善に向けた徹底的なデータ活用

社内システムを活用した燃費管理・燃費分析

車両ごとに日々の走行距離と給油量を運転日報に記録。燃費データを社内システムで管理し、車両ごとの月間燃費などを一目でわかるように保管している。さらに、このデータをもとにエコドライブの進捗資料を毎月作成し、拠点ごとの燃費改善率も算出。燃費データを徹底的に分析することで今後の改善に役立てている。さらに、四半期に1度エコ安全ドライブ報告書を作成し、社内に活動の成果を報告することでエコドライブ意識の維持を図っている。



エコドライブ進捗資料・エコ安全ドライブ報告

実践方法

概要

| | | | | |
|--------|--|---|-------|---------|
| 主催 | 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団 | | | |
| 後援(予定) | [エコドライブ普及連絡会] (警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省) [エコドライブ普及推進協議会] (一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、(一社)日本自動車連盟、(公社)全日本トラック協会、(一社)全国自動車販売協会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国レンタカー協会、(一財)環境優良車普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 | | | |
| スケジュール | ① 応募期間：2023年5月9日(火)～7月7日(金) ② 表彰式：2023年11月28日(火)に開催予定の「2023年度エコドライブシンポジウム」の会場にて国土交通大臣賞、環境大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞を表彰。 | | | |
| 募集対象 | 事業部門(主に緑ナンバー) | 自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。 | | |
| | 一般部門(主に白ナンバー) | 移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運営している場合を含む。 | | |
| | 支援ビジネス・ユニーク部門 | メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス、運輸事業部門での脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた実施策など。 (例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど) さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。 (例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど) | | |
| 表彰 | ● 国土交通大臣賞 | 【事業部門】 | 1件 | 賞状及び記念品 |
| | ● 環境大臣賞 | 【一般部門】 | 1件 | 賞状及び記念品 |
| | ● 審査委員長特別賞 | 【支援ビジネス・ユニーク部門】 | 数件 | 賞状及び記念品 |
| | ● 優秀賞 | 【事業部門/一般部門】 | 6件程度 | 賞状及び記念品 |
| | ● 優良賞 | 【事業部門/一般部門】 | 40件程度 | 賞状 |
| | ※大臣賞を受賞した事業者は、その後の3回のコンクールでは受賞できません。優秀賞の場合はその後の2回のコンクールで、優良賞の場合はその後の1回のコンクールで、より上位の賞でなければ受賞できません。 | | | |
| | ※一定レベル以上の活動をしていると評価された場合は、「優秀認定証」「優良認定証」を授与しますので、継続しての応募を歓迎いたします。 | | | |
| 参加費用 | 無料 | | | |

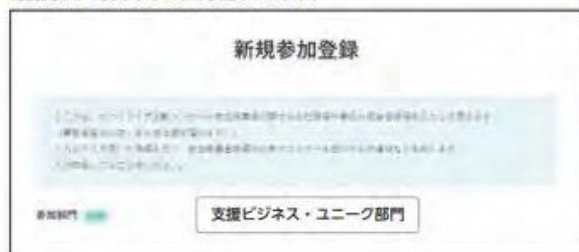
エコドライブ 活動コンクール



支援ビジネス・ユニーク部門開設し、応募を開始しました!!

昨年度より新設した支援ビジネス部門と従来からあるユニーク部門を統合し、「支援ビジネス・ユニーク部門」として開設し、応募を開始しました。

メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス、荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取り組みや、SDGs とコラボレーションしたエコドライブの実施策など、取り組み内容を審査し、評価が高かった場合には審査委員長特別賞として表彰することを予定しています。



応募はこちらから



参加方法

PCやタブレットからアクセス
いただき支援ビジネス・ユニーク
部門の参加登録ボタンをクリック

<URL>

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

問い合わせ先

(事務局窓口業務委託先：株式会社アスア)

〒453-0804 愛知県名古屋市中村区黄金通一丁目11番地 アスアビル TEL：052-452-6886 (平日10:00-17:00)



国土交通大臣賞



環境大臣賞

参加費用
無料

事業部門
一般部門
支援ビジネス・ユニーク部門

トラック、バス、タクシーなどの運送事業者

移動などの業務上で車両を使用している事業者

メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス、運輸事業部門での脱炭素やカーボンニュートラルに向けた実施策など、さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取り組み

応募期間 5/9(火)～7/7(金)

主催 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

後援(予定)

[エコドライブ普及連絡会]
(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

[エコドライブ普及推進協議会]

(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、
(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、
(一社)日本自動車連盟、(公社)全日本トラック協会、
(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、
(一社)全国個人タクシー協会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、
(一社)日本中古自動車販売協会連合会、
(一社)日本自動車販売協会連合会、
(一社)環境優良車普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

ECO DRIVER.
これからのドライバー。



公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
Foundation for Promoting Personal Mobility and Ecological Transportation

はじめに

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」（運輸関係等16団体で構成）の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組を行っている事業者を表彰し、その取組内容を紹介することでエコドライブの更なる普及や運輸事業部門の脱炭素化を図っています。

今年のココンクールについて

今年度は、事業部門、一般部門、支援ビジネス・ユニーク部門の3部門で実施いたします。また、最も優れた取組に対して、事業部門では国土交通大臣賞、一般部門では環境大臣賞が授与されます。運輸事業者はもちろんのこと、一般企業からNPO・任意団体・グループなどの幅広い参加をお待ちしております。

| | |
|---------------|---|
| 事業部門(主に日ナンバー) | 自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。 |
| 一般部門(主に日ナンバー) | 移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。 |
| 支援ビジネス・ユニーク部門 | メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。運輸事業部門での脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた実施策など。 (例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど) さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。 (例 SDGsとコラボレーションしたエコドライブの取組みなど) ※事業部門や一般部門との重複応募も可能です。 ※詳しくは事務局までお問い合わせください。 |

参加メリットは?

社内の
意識向上・活性化
につながります

エコドライブ推進の
支援ツール
が手に入ります

自社の活動レベルを
客観的に評価
できます

参考となる他社の
優秀な取組事例
が手に入ります

審査の基準は?

本コンクールの事業部門と一般部門では、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動の取組内容を幅広い観点から審査します。

| | |
|------------|--|
| 1. 取組体制の整備 | どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。 |
| 2. 教育の実施 | 従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。 |
| 3. 燃費管理 | どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。 |
| 4. 活動成果 | どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。 |
| 5. 継続実績と方策 | エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。 |

※事業部門と一般部門では、継続して参加する事業者を推奨しています。そのため同点の場合は、継続して参加する事業者を優先して評価します。

※支援ビジネス・ユニーク部門は上記の審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取り組みを評価します。

コンクールの流れは?

Step 1 公式サイトから該当部門へ参加登録

(詳細は裏面の募集対象をご覧ください)



http://www.ecodrive-activity-concours.jp/

Step 2 一次審査応募

公式サイト上のマイページにログインし、ご応募ください。チェックシートに「はい」「いいえ」で答えていただくだけで応募完了です！
一次審査の結果はその場でわかります。

Step 3 二次審査資料の提出

一次審査を通過された方は、マイページにある二次審査に必要な資料をご用意いただき、エコドライブの取組をアピールする資料とともにご郵送ください。
・燃費、事故のデータはマイページ内のフォームに従って入力し、印刷して紙でご提出ください。

Step 4 最終審査

二次審査で評価の高かった事業者には、最終審査として取組内容などのヒアリングを実施します。
・大臣賞等については審査資料とヒアリング内容を総合的に評価し、受賞事業者を決定します。

優秀な事業者を表彰

審査により大臣賞、審査委員長特別賞、優秀賞、最良賞が選ばれます。
公式サイトの中で、自社の審査結果を閲覧できます。
「優秀決定証」「最良決定証」を授与される場合があります。
(詳細は裏面の表彰内容をご覧ください。)

エコドライブ推進のための支援ツールは?

各種ツールを活用して活動を盛り上げましょう

エコモ財団で作成したエコドライブステッカー(130円/枚)、エコドライブテキスト(トラック版、乗用車版、各200円/冊)、「エコドライブ10のすすめ」チラシ・リーフレット・ポスター(無料)、コンクールリーフレット(電子データ)、優秀取組事例集(電子データ)、参加登録証明書(電子データ)、燃費管理支援サイトなどを用意しています。



表彰された事業者の取組を紹介します。

コンクール応募企業の中から優秀な取組を行なっている事業者を表彰し、優秀事業者の取組内容を公式サイトで公表します。

優秀取組事例集

https://www.ecodrive-activity-concours.jp/data/jirei2022.pdf



審査委員長特別賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



いすゞ自動車株式会社「MIMAMORI」

所在地：神奈川県横浜市西区高島一丁目2番5号横濱ゲートタワー
 主要製品：大型・中型・小型トラック、バス、自動車用ディーゼルエンジン、産業用ディーゼルエンジン



エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

MIMAMORIはインターネットを活用したクラウドタイプの有償運行管理システム。車両と事務所を接続し、遠隔で車両運行情報の収集や解析ができる。

エコドライブや安全運転につながる様々なサービスを展開。省燃費運転レポートでは、商用車メーカーならではの運転操作のノウハウを元に、アクセル操作やブレーキ操作、燃費やアイドリング時の燃料使用量等の車両制御情報を表示している。

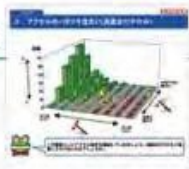
現在MIMAMORIは約6万5千台の車両に利用されている。

ドライバー自身の学習を促すクラウド活用のレポート機能

MIMAMORIは車両を制御するコントロールユニットから直接運転操作データを取得している。そのため、運転操作や稼働状況を詳細に把握可能。正確なアクセル操作やブレーキ操作、急加減速などの状況をドライバーが確認することができ、省燃費・安全運転の改善に活用することができる。

受賞事業者の声

これからお客様の価値最大化を目指し、「車主様」「運送事業者様」「倉庫事業者様」のみならず、社会インフラなどの連携により、物流業界が抱えるさまざまな課題解決に、「貢献するための仕組み」を提供して行きたいと思っております。



レポート機能

分析機能でドライバー教育をサポート

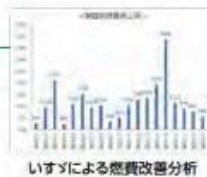
エコドライブ・トレーニングレポートでは、エコドライブ評価の中で、特に改善が必要な項目を3つピックアップ。ドライバー毎に点数と等級、トレーニングメニューを表示する。等級アップの目標値も表示して、エコドライブ技術の向上を促している。

改善項目のピックアップ

いすゞ自動車によるMIMAMORIの燃費改善効果調査

MIMAMORIを利用している事業者をランダムに20社選定し、燃費改善率を確認する調査をいすゞ自動車実施。その結果、平均で11%燃費が改善しており、最高で39%の燃費改善が確認された。

仮にMIMAMORIを利用している全ての顧客事業者が平均と同じ燃費改善率だった場合、年間の燃料使用量で約9,900万L、CO2換算で約25万7千t削減の効果があると試算している。



いすゞによる燃費改善分析



株式会社渡辺精工社・株式会社トワード「Eco-SAM」

株式会社渡辺精工社

所在地：東京都大田区田園調布本町57-4
 業務内容：器材・工具類販売、各種製品の販売、ICTシステム販売・構築・展開・運用 など

株式会社トワード

所在地：佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津166-13
 業務内容：一般貨物自動車運送事業、情報システム開発販売業 など



受賞事業者の声

私どもは、「Eco-SAMでセーフティ・エコドライブの文化を盛り、地球環境貢献と交通事故削減に全力で取り組む」ことを使命とし日々活動しております。今後もより一層推進し、広くお客様に普及させていただきたいと考えております。

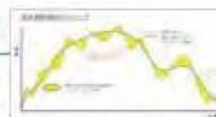
エコドライブ活動を支援する製品・サービスの概要

渡辺精工社が販売するEco-SAMは、トワードが開発した波状運転指数という独自のロジックでドライバーのエコドライブの実施度合いを評価することができるサービス。導入事業者数が約1,500社で、搭載車両数は約30,000台の販売実績があり、車載器はシガーソケットから電源を取るだけで使える手軽さから、運送事業者だけでなく様々な業態の事業者にも採用されている。

エコドライブの実施度合いを数値化する波状運転指数

波状運転指数はGPSより取得した車両の速度データから、エコドライブにおける理想的な速度変化との乖離を解析することで、無駄な加速や減速によるエネルギーロス測定。波状運転指数は丁寧な発進や加減速の少ない運転、早めのアクセルオフなどで評価が高くなり、運転の滑らかさを数値化することによってエコドライブの実施度合いを評価している。

急発進や急ブレーキなどの発生で評価をするイベント検知型ではないため、運転をしている全ての時間でエコドライブの実施度合いを数値化することが可能。波状運転指数を意識した運転をすることでエコドライブ技術の向上などにつなげることができる。



波状運転指数のイメージ



エコドライブ計測器 Eco-SAM

導入ハードルが低いシステム

車両のシガーソケットから電源をとるだけで使用できるEco-SAMは、ハードウェアの取り付けが簡単で比較的価格も安いため導入のハードルが低い。また、トラックやバスだけでなく一般的な乗用車にも導入できることから、運輸事業者や廃棄物処理事業者の他にも他社やメーカーといった一般事業者にも多く採用されている。

渡辺精工社によるEco-SAMの燃費改善効果調査

渡辺精工社が行った調査では、波状運転指数の評価が1段階良くなると2.4%ほどの燃費改善効果があるという結果になった。また、Eco-SAMを導入している顧客事業者の燃費データを独自に分析したところ、平均で13.6%の燃費改善が見込めるという調査結果となった。

Eco-SAMを導入している事業者からは燃費改善だけでなく、安全運転やタクシーであれば乗り心地の改善にもEco-SAMの波状運転指数が活用できるという声も上がっている。

| 事業者 | 導入前 | 導入後 | 燃費改善率 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 1. 株式会社A | 10.0% | 12.4% | 2.4% |
| 2. 株式会社B | 11.0% | 13.4% | 2.4% |
| 3. 株式会社C | 12.0% | 14.4% | 2.4% |
| 4. 株式会社D | 13.0% | 15.4% | 2.4% |
| 5. 株式会社E | 14.0% | 16.4% | 2.4% |
| 6. 株式会社F | 15.0% | 17.4% | 2.4% |
| 7. 株式会社G | 16.0% | 18.4% | 2.4% |
| 8. 株式会社H | 17.0% | 19.4% | 2.4% |
| 9. 株式会社I | 18.0% | 20.4% | 2.4% |
| 10. 株式会社J | 19.0% | 21.4% | 2.4% |
| 11. 株式会社K | 20.0% | 22.4% | 2.4% |
| 12. 株式会社L | 21.0% | 23.4% | 2.4% |
| 13. 株式会社M | 22.0% | 24.4% | 2.4% |
| 14. 株式会社N | 23.0% | 25.4% | 2.4% |
| 15. 株式会社O | 24.0% | 26.4% | 2.4% |
| 16. 株式会社P | 25.0% | 27.4% | 2.4% |
| 17. 株式会社Q | 26.0% | 28.4% | 2.4% |
| 18. 株式会社R | 27.0% | 29.4% | 2.4% |
| 19. 株式会社S | 28.0% | 30.4% | 2.4% |
| 20. 株式会社T | 29.0% | 31.4% | 2.4% |

渡辺精工社による調査結果

エコドライブ講習



<https://www.fine-motorschool.co.jp/>

エコドライブ講習認定団体〔乗用車〕（京都府）

| | | | | | |
|-------------|------|----------------------------|--------------------------------|--|-----------|
| 京 都 府 | 0057 | 山城自動車教習所 | 〒610-0301 京都府綴喜郡井手町多賀西北河原49 | (TEL) 0774-82-2165 (FAX) 0774-82-5251 | H21.6.26 |
| | 0082 | きんき安全自動車学校 | 〒615-0056 京都府京都市右京区西院西貝川町72 | (TEL) 075-872-1881 (FAX) 075-872-1892 | H21.11.10 |
| | 0240 | 京都府峰山自動車学校 | 〒627-0004 京都府京丹後市峰山町荒山738 | (TEL) 0772-62-0637 (FAX) 0772-62-6585 | H26.7.28 |

エコドライブテキスト



https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_private.html



https://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_text_truck.html

運輸・交通と環境

◆ 書籍目次

I. 2022年における環境問題をめぐる動き

II. 運輸部門における主要な環境問題の現状

- 地球環境問題の現状
- 自動車の排出ガス問題の現状
- 廃棄物・リサイクル問題の現状

III. 運輸部門における主要な環境問題への対策

- 地球温暖化対策の推進
- トラック・バス等の排出ガス対策の推進
- 循環型社会の構築
- 自治体、事業者、市民団体等の取り組み

IV. その他の環境問題への対策

- 騒音問題への取り組み
- 海洋汚染への対応
- 船舶からの排出ガス対策
- 化学物質対策
- オゾン層破壊防止
- 地球環境の観測・監視
- 国土交通分野の気候変動への適応策



<http://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

ご清聴ありがとうございました